

(2) 氾濫特性

1) 最大浸水深(10年確率)

10年間に1回発生するような大雨(今後20年間に約88%の確率で遭遇するような大雨:累計雨量170mm/24hr)が降った場合、雨や氾濫流は下流へ集まり、道路盛土上流や河川の合流点で浸水が大きくなる他、須恵や葛巻では家屋で床上浸水が生じる恐れがあります。

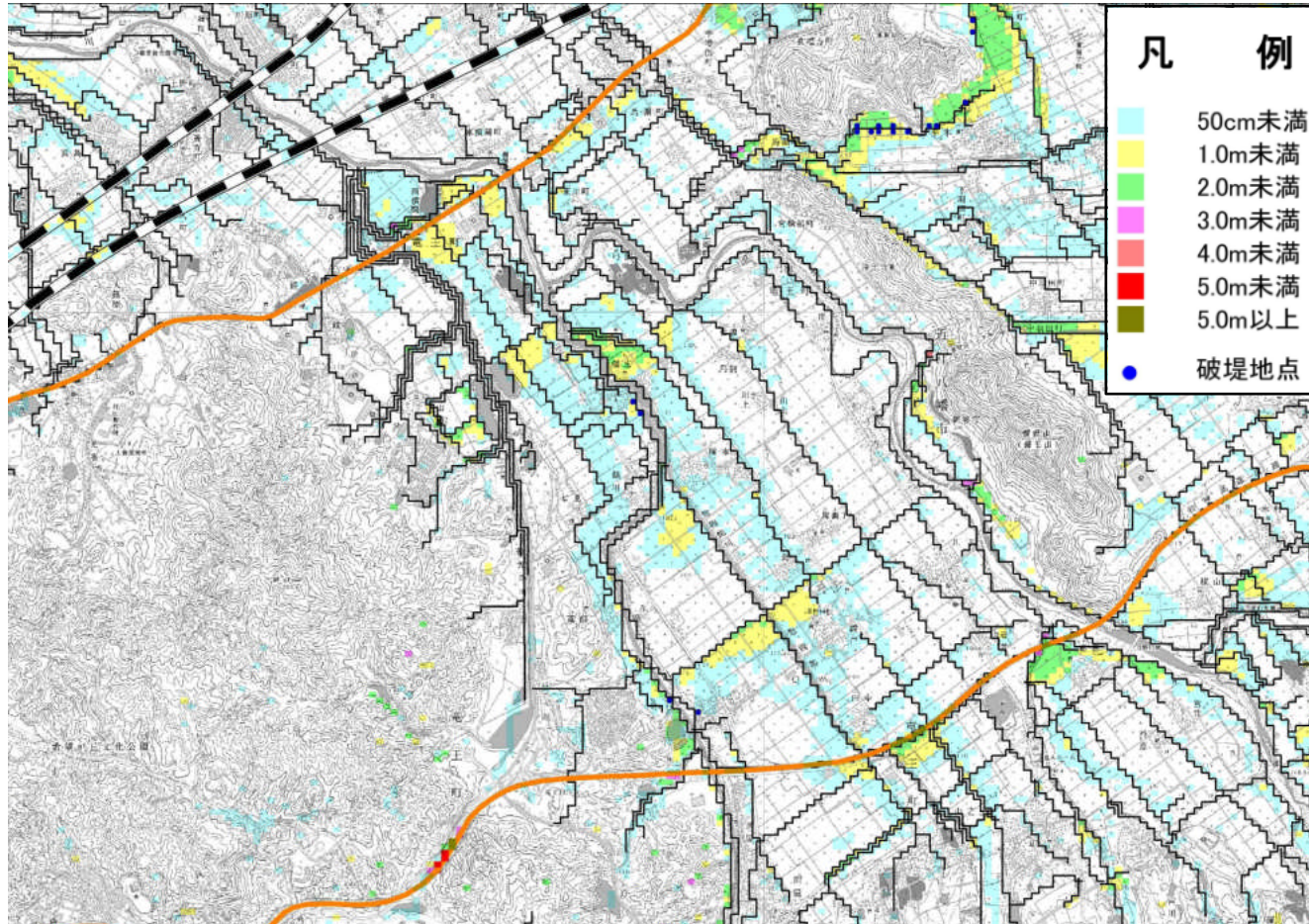


図 2.2.12 最大浸水深図 (10年確率 現況)

2) 最大浸水深 (50年確率)

50年間に1回発生するような大雨(今後20年間に約40%の確率で遭遇するような大雨:累計雨量384mm/24hr)が降った場合、新川と祖父川、惣四郎川と祖父川、法教寺川と日野川の合流点で2mを超える浸水の発生が予想されます。また、須恵や葛巻に加え、西横関、弓削、薬師、小口では家屋で床上浸水が生じる恐れがあります。

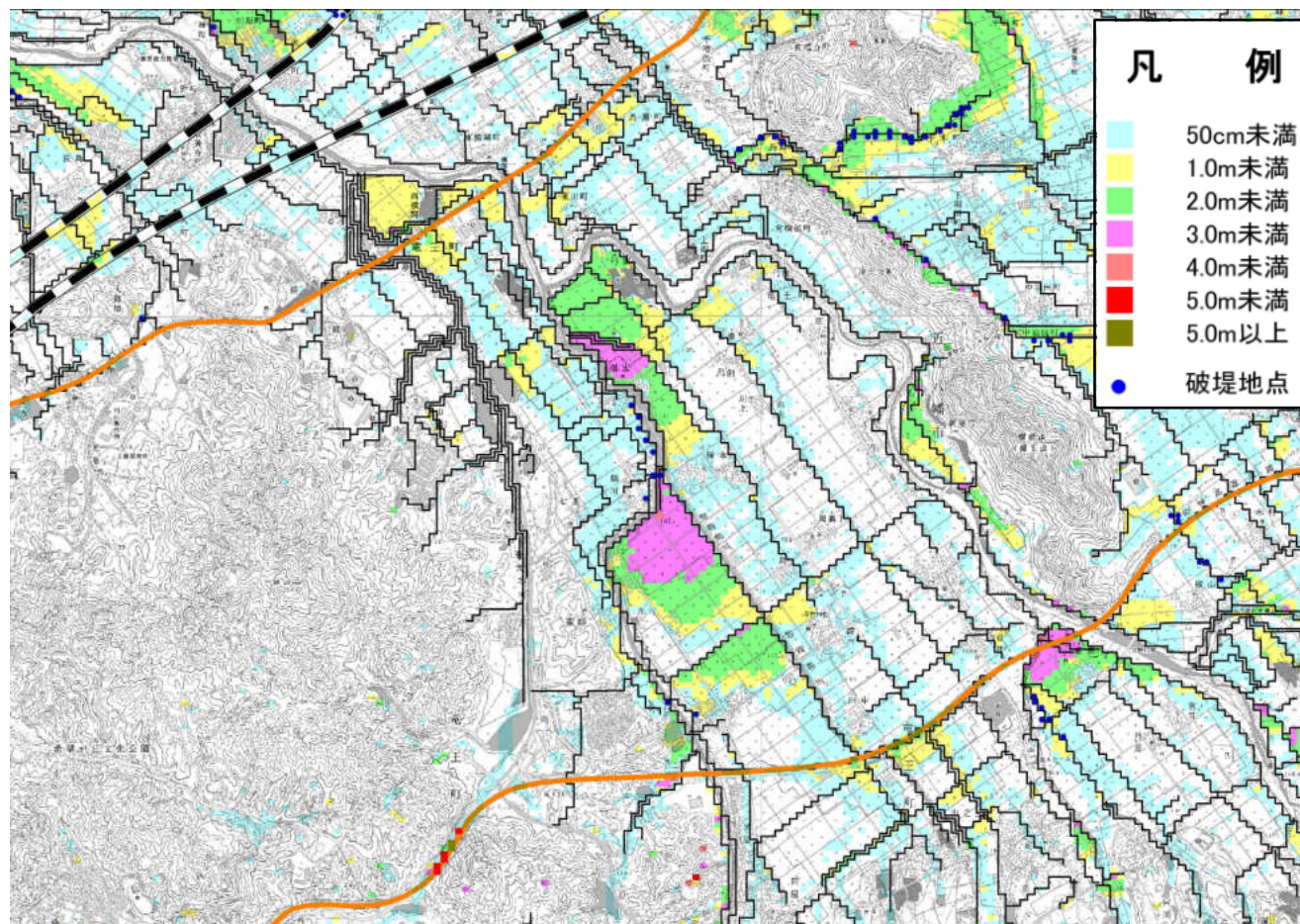


図 2.2.13 最大浸水深図 (50年確率 現況)

3) 最大浸水深（100年確率）

100年間に1回発生するような大雨(今後20年間に約20%の確率で遭遇するような大雨：累計雨量529mm/24hr)が降った場合、弓削や橋本の農地で浸水深が3mを超えます。西横関、須恵、葛巻、弓削、薬師、小口に加え、川上や橋本、信濃でも家屋で床上浸水が生じる恐れがあります。

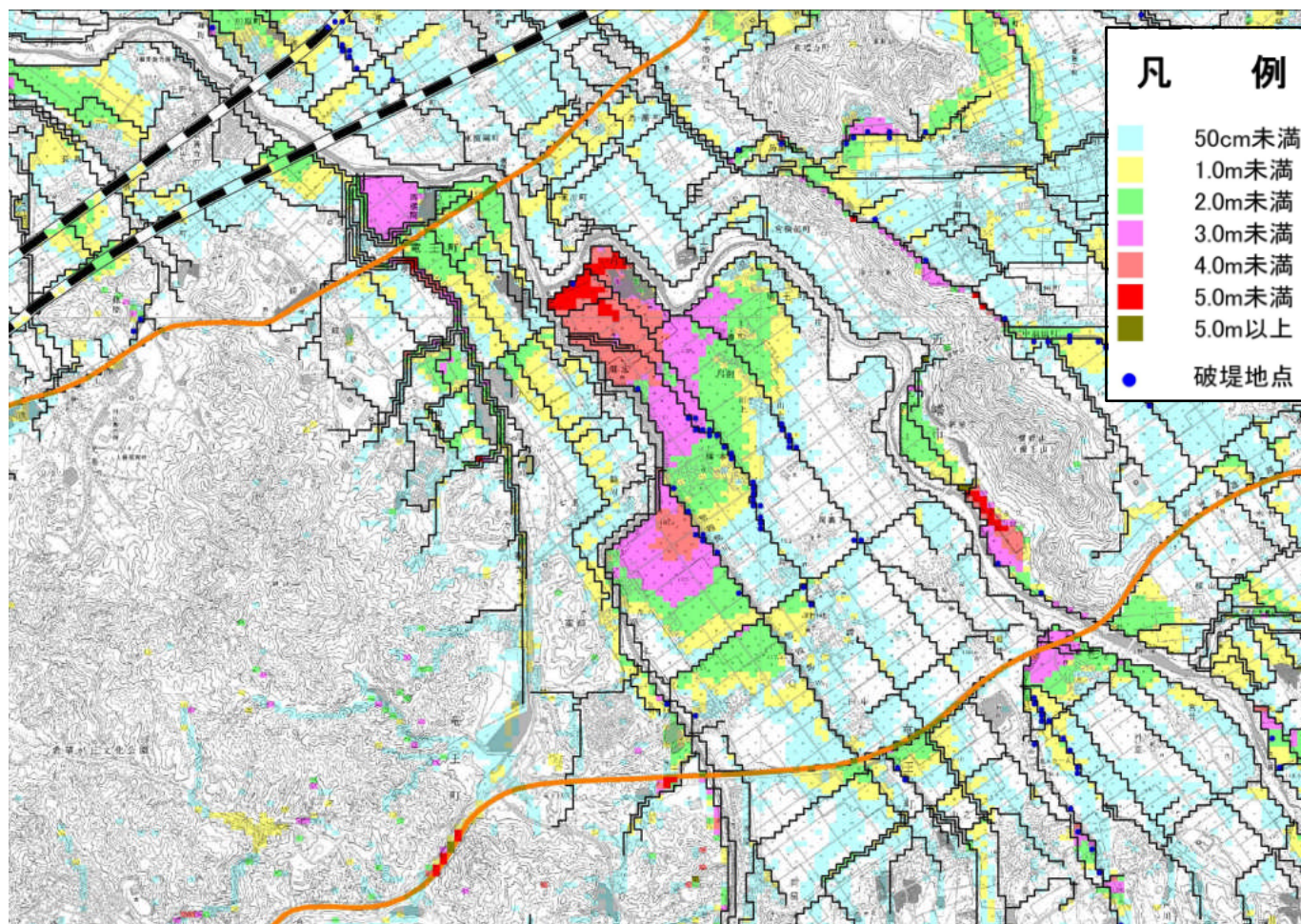


図 2.2.14 最大浸水深図（100年確率 現況）

4) 最大浸水深 (200年確率)

200年間に1回発生するような大雨(今後20年間に約10%の確率で遭遇するような大雨:累計雨量634mm/24hr)が降った場合、須恵、葛巻、弓削、薬師、小口、川上、橋本、信濃で床上浸水が生じ、弓削では家屋の水没が生じる恐れがあります。

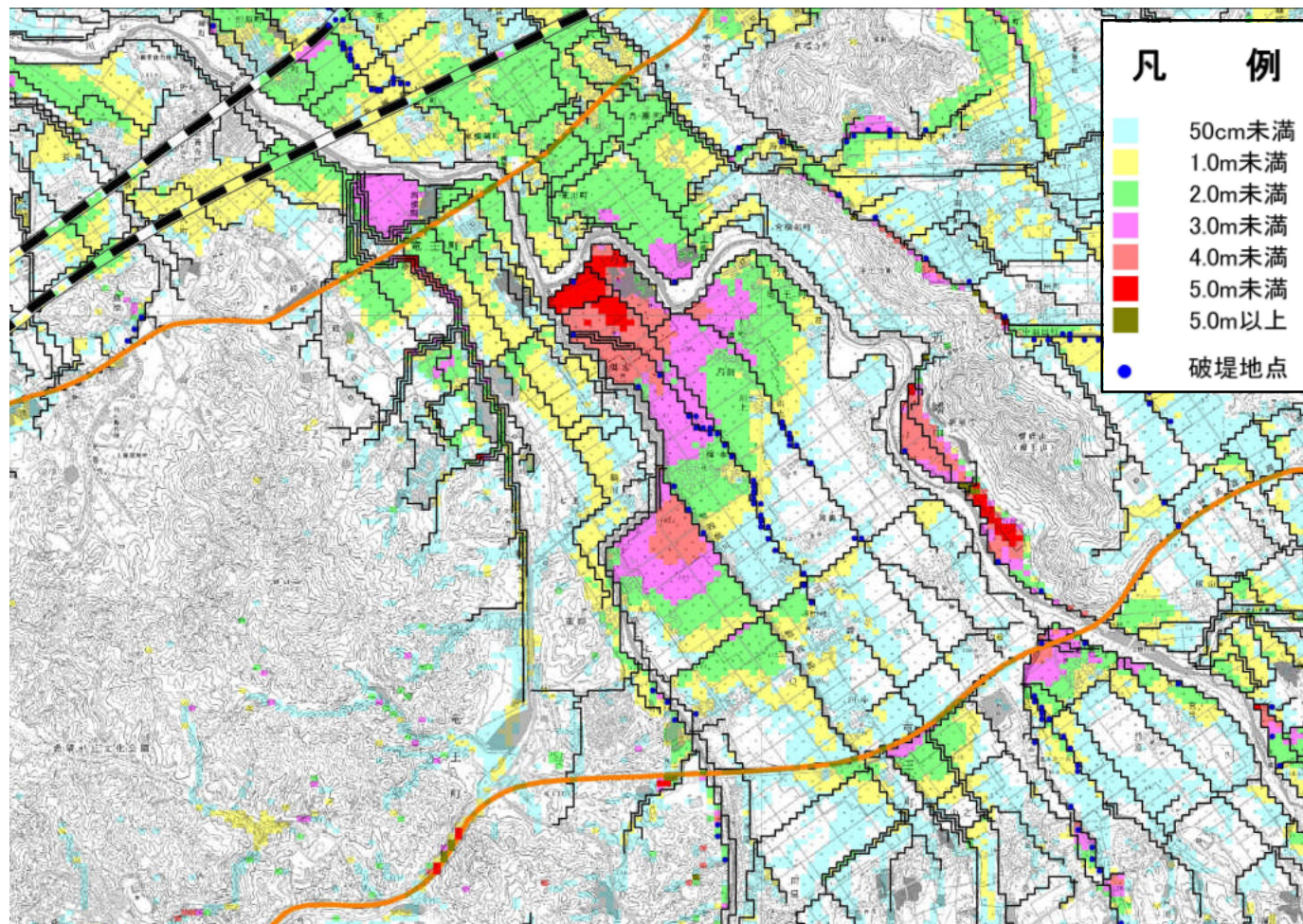


図 2.2.15 最大浸水深図 (200年確率 現況)

5) 最大流体力 (200年確率)

200年間に1回発生するような大雨(今後20年間に約10%の確率で遭遇するような大雨: 累計雨量 634mm/24hr)が降った場合、越流箇所付近や盛土構造物付近において流体力が $2.5\text{m}^3/\text{s}^2$ を越える区域が生じ、葛巻、小口では家屋の流失が生じる恐れがあります。

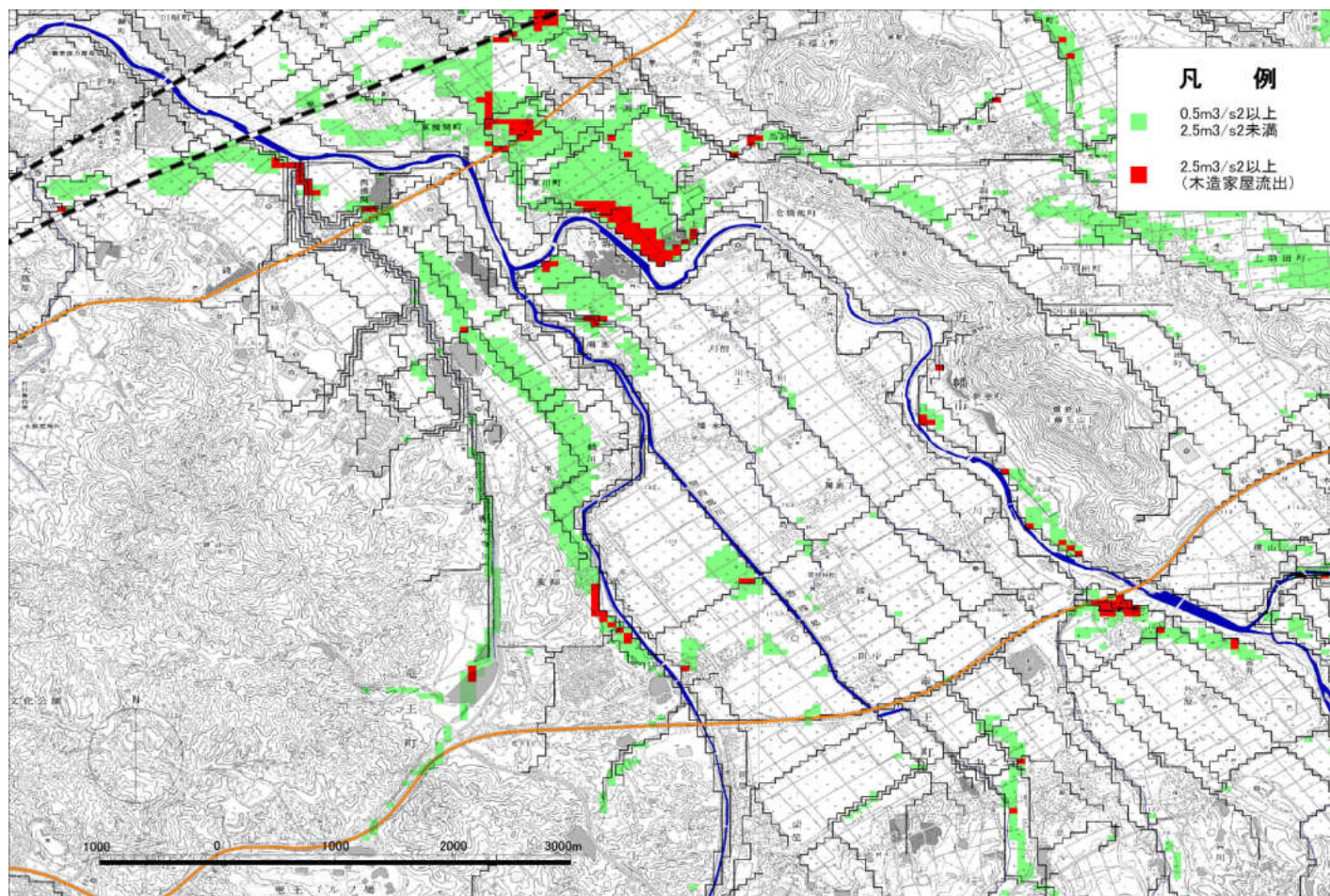


図 2.2.16 最大浸水深図 (200年確率 現況)